

電子複写不可

自昭和二十年三月二十日
至昭和二十年六月二十日

天一號航空作戰戰鬥詳報附録其二

昭和二十年七月三十一日
第八飛行師團司令部

1870

作成済

陸軍
本土周辺
29

1610
2

軍事極秘

自昭和二十一年五月十日
至昭和二十一年六月二十日

天二號航空作戰戰鬥詳報附錄(其二)

12
254

昭和二十一年七月三十一日
第八飛行師團司令部

附錄第一

目

次

一	一	一	一
誠作命丙	誠作命乙	誠作命甲	誠作命
至庚一九二	至庚一四三	至庚一六六	至庚一六六
第	第	第	第

0187

臺

作

命

甲

臺命甲第二四二號

第十方面軍命令

三月二十四日
臺北

第八飛行師團長 八速カニ「天」一號
航空作戰準備ヲ促進スヘシ

第十方面軍司令官 安藤利吉

下達法 要旨電報電話後印刷交付

配置區分 誠球航本防總 靖西軍榮集威司

尚武陽敢律興高警

報告先 大本營

軍令甲第百四十三號

第十方面軍命令

三月廿六日
臺北

天
一
號
ヲ
令
ス

第十方面軍司令官 安藤利吉

下達法
要旨電報電話後印刷配布
誠球陽敵武獨混言二旅律興隸下軍直各部隊

報告先
防總大本營
靖支總軍成司陸航本

6810

0610

臺作命甲第二百五十號

第十方面軍命令

三月三日

北

第八飛行師團長、第三練成飛行隊
及第八教育飛行隊、人員資材、
自今作戰、為使用スヘシ

第十方面軍司令官 安藤利吉

下達法 甲別交付
配布先 裁
報告先 大本營

臺作命甲第

第十方面軍命令

四月五日二四〇

聯合艦隊第六航空軍及第五航空艦隊ハ主力ヲ擧ゲテ沖繩周邊敵艦

船攻撃ヲ企圖ス

攻撃ノ時機ハ四月五日乃至六日ト豫定

スルモ細部ニ關シテハ聯合艦隊ヨリ

通報スル筈

第八飛行師團ハ聯合艦隊ハ企圖ニ

誠作命甲

7610

密ニ連繫シ現任務ヲ續行スヘシ
 第三十二軍ハ右企圖ニ策應シ本來ノ任
 務完遂ニ邁進スヘシ
 特ニ海空部隊ノ壯舉ニ比肩スル地上
 部隊ノ積極果敢ナル行動ニ依リ其名
 譽ヲ發揮センコトヲ期スヘシ

第十方面軍司令官安藤利吉

下達法要旨(球大本營聯合艦隊)電報

(誠)口達後印刷交付

配布區分球陽誠敢武必興律軍直各隊高警憲司
 七船司各部
 大本營聯合艦隊

臺飛作命甲第三十一號

第八飛行師團命令

三月二十五日
臺 地

一左記諸隊ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメラル

飛行第二十四戰隊

獨之飛行第四十二中隊

獨之飛行第四十二中隊

獨之飛行第四十三中隊

指揮轉移ノ時機ハ臺灣飛行揚到着ノ時トス
二師團ハ速カニ天一號作戰ノ基本態勢ヲ完整

セントス

三飛行第二四戰隊獨立飛行第一中隊①號第
 百五及第百六飛行隊ハ別ニ示ストコロニ基キ宮
 古ニ前進シ第九飛行團長ノ指揮下ニ入ルハシ
 指揮轉移ノ時機ハ宮古飛行場到着ノ時トス
 四第九飛行團長ハ前項部隊ヲ併セ指揮シ隨時
 沖繩方面ニ對スル進攻ヲ準備スヘシ
 五獨立飛行第四二及第四三中隊ハ樹林口ニ展開シ
 隨時沖繩方面ニ進攻シ得ル如ク準備スヘシ

六獨立飛行第一九中隊ハ一部ヲ以テ第三項部隊展開
 爲臺北一宮古間ノ誘導ニ任スヘシ

七獨立飛行部隊ハ依然現在所ヲ續行スヘシ

八獨立飛行部隊ハ依然現在所ヲ續行スヘシ

第九獨立飛行團長ノ本健兒

下違法(要旨ヲ述ベテ)

郵電運分

- 10HA
- 9FB
- 22FB
- 24FB
- 41FC
- 42FC
- 43FC
- 44FC
- 45FC
- 46FC
- 47FC
- 48FC
- 49FC
- 50FC
- 51FC
- 52FC
- 53FC
- 54FC
- 55FC
- 56FC
- 57FC
- 58FC
- 59FC
- 60FC
- 61FC
- 62FC
- 63FC
- 64FC
- 65FC
- 66FC
- 67FC
- 68FC
- 69FC
- 70FC
- 71FC
- 72FC
- 73FC
- 74FC
- 75FC
- 76FC
- 77FC
- 78FC
- 79FC
- 80FC
- 81FC
- 82FC
- 83FC
- 84FC
- 85FC
- 86FC
- 87FC
- 88FC
- 89FC
- 90FC
- 91FC
- 92FC
- 93FC
- 94FC
- 95FC
- 96FC
- 97FC
- 98FC
- 99FC
- 100FC

臺飛作命甲第二十三號ニ基ク參謀長指示

一新二師團ノ指揮下ニ入ルヘキ飛行部隊及②號第百十五
第百六飛行隊到着豫定概テ左ノ如ク關係地上勤
務部隊ノ著陸後速カニ之ヲ分散救匿スルト共ニ速
急整備ヲ完成シ得ルルヲ所要ノ兵力ヲ本二十五日十
七時迄ニ兩飛行場ニ待機セシメ置クモノトス

獨之飛行第四十二中隊

二十五日十七時以降

②號第百十五飛行隊

②號第百十六飛行隊

其ノ他

二十五日狀況ニ依リテ各(十七時以降

三宮吉ニ展開スヘキ飛行部隊ノ臺北ニ於ケル飛行場使
用區分左ノ如シ

獨之飛行第四中隊

臺北(南)

其ノ他

臺北

三宮吉ニ展開スヘキ飛行部隊ノ前進要領(誘導會)
ハ當時ノ狀況ニ應ジ其ノ都度指示ス

昭和二年三月二十五日

第八飛行師團參謀長 岸本重一

臺(飛)作命甲第二百十二號

第八飛行師團命令

三月二十五日二二〇〇
臺北

一 本朝來慶良間群島附近正陸ヲ開始セルモ
如シ

二 飛行第十戰隊長ハ速ニ三機ヲ以テ慶良間群島
方面ニ於ケル敵船團ノ狀況ヲ搜索スヘシ

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ口達後印刷交付

配布區分

10HAニ
14FR
38AB
1126L 各一

臺飛作命甲第二百十三號

第八飛行師團命令

三月二十五日二〇〇〇
臺北

一 偵察隊、搜索二依、八、愛良間群島周邊、并國內、洋上三、大型空母二、敵機動部隊アル外、那霸西、方海面ニ、敵艦數隻ヲ、成ル有テ、敵機遊弋中ナリ
二 師團八明二十六日早朝一部ヲ以テ敵機動部隊ヲ攻撃セントス

三 第九飛行團長八明二十六日早朝、敵第十七飛行隊ヲ基幹タル特別攻撃隊ヲ以テ愛良間群島周邊、敵機

動部隊ニ對シ左ノ如ク攻撃スヘシ

- 1. 攻撃時刻 0550
- 2. 編成及攻撃方式 甲編成第一方式
- 3. 直掩機、裝備、爆裝

四獨立飛行第四十八中隊ニ部ヲ以テ前項部隊攻撃ヲ為シ、夜間搜索並ニ觸接ヲ行スヘシ

五飛行第十戰隊長ハ一機ヲ以テ第三項部隊ノ攻撃戰果ノ確認並ニ拂曉沖繩本島周邊地域ニ於ケル敵艦船ノ狀況ヲ搜索セシムヘシ

六前二項部隊行動ノ細部ニ關シテハ主任參謀ヲシテ

連絡セシム

第八飛行師團長 山本健兒

後印刷交付

1044
978
48
69

臺飛作命甲第三百十三號其二

第八飛行師團命令

三月二十五日二二〇〇北

一 沖繩本島方面ニ對スル敵ノ進攻企圖ハ逐次歴

タリ

二 師團ハ九州附近ニ集結中、特別攻撃隊ヲ逐次沖

繩方面ノ戦闘ニ加入セシメントス

三 西參謀ハ九州ニ到着セル誠飛行隊ヲ指揮シ左

如ク處理スヘシ

ハ誠第三十第三十三乃至第三十五第三十九飛行隊適

當ナル誘導機ヲ附シテ上海經由臺北ニ前進セシム
 誠第三十二第三十六及至第三十八及第四十第四十一飛
 行隊 冲繩(中又ハ北)又ハ徳之島飛行場ニ前進シ
 六 神參謀ノ指揮下ニ入ラシム
 四 神參謀ハ前項第二號部隊ヲ指揮シ好機ヲ
 捕捉シテ敵船艦ヲ攻撃セシムヘシ
 五 第三第四項部隊ノ指揮轉移ノ時機ハ飛行隊ノ
 南西諸島到着ノ時トス
 第八飛行師團長 山本健兒

臺飛作命令甲第二百十四號

第八飛行師團命令

三月二十六日 〇〇〇〇
 臺 北

一 師團及新ニ配屬セラレタル人員資材ヲ以テ飛行部
 隊ヲ編成ス

二 師團大尉ハ飛行第三十二第三十六第三十八第四十及第四十一飛行隊
 ヲ誠第二百四戰隊ニ編成シ臺北ニ位置シ別ニ示ス
 所ニ基キ訓練ヲ實施スヘシ

三 山口大尉ハ飛行第三十六戰隊ヲ編成シ臺北ニ集結スヘシ
 誠第三十六戰隊ヲ編成シ臺北ニ集結スヘシ

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ口達後印刷交付

配布區分 10HAニ 誠 204FR 26FR 380B 112AL 各一

臺飛作命甲第二百十六號

第八飛行師團命令

三月二十六日五三
臺 北

一師團ハ新ニ特別攻撃隊ヲ編成セントス

二第九飛行團長第二十二飛行團長飛行第百五戰

隊長ハ速カニ左ノ如ク甲編成ノ攻撃隊ヲ編成シ隨

時ノ進攻ヲ準備スヘシ

第九飛行團

誠第十七飛行隊及獨立飛行第二十三中隊ノ

殘部ヲ以テ一隊(機數ヲ若干減少スルコトヲ得)

第二十二飛行團

飛行第十七戰隊ヲ以テ一隊

飛行第百五戰隊 一隊

三第八教育飛行隊長及第三練成飛行隊長ハ左ノ如ク練習機ヨリ成ル特別攻撃隊ヲ編成スヘシ

第八教育飛行隊 二隊

第三練成飛行隊 一隊

四細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

第八飛行師團長 山本健兒

陸軍飛行師團長第百十六號ニ基ク參謀長ヲ指示

一第九飛行團ニ於テ編成スル誠第十七飛行隊ニ對スル飛行機ノ補給ニ關シテハ別ニ指示ス

二飛行第十七第百五戰隊ニ於テ編成スル攻撃隊ノ人員ハ伎術優秀ナル者ヲ直接機ニ充用シ飛行機ハ自隊保管ノモノ

ヲ充當スルモノトス

三第八教育飛行隊ニ於テ編成スル特別攻撃隊ハ誠第百十七(キニ七)第百十八飛行隊(キニ七九)ノ人員ノ選定ハ誠第

百十五第百十六飛行隊ニ準シ飛行機ハ自隊保管ノモノ及

...

南方方向移管機ヲ充當スルモノトス

四第三錬成飛行隊ニ於テ編成スル飛行隊ハ誠第四百十九飛行隊(キ四五)トシ人員飛行機充用(當)ハ誠第四百十四飛行隊ニ準スルモノトス

五各編成擔任官ハ速ク充用セル人名ヲ報告スルト共ニ誠第四百七乃至第四百十九飛行隊ニ在リテハ所要ノ整備班ヲ附スルモノトス

六第五野戰航空修理廠長ハ前各號編成ノ為飛行機ノ整備及改修ニ密ニ協力スルモノトス

臺飛作命甲第二百十七號

第八飛行師團命令

三月二十七日
臺 北

一師團ハ沖繩本島周邊ノ敵艦團ニ對スル攻撃ヲ

準備セヨトス

二第九飛行團長ハ軍偵二機及特攻機二機ヲ以テ本二十七日夜沖繩本島周邊ノ敵艦團ヲ攻撃シ得ル如ク準備スヘン

三第二十飛行團長及獨逸飛行第四十八第四十九中隊長ハ各軍偵二機ヲ以テ本二十七日夜沖繩本島

212
周邊ノ敵船團ヲ爆撃シ得ル如ク準備スヘシ

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ 9FB 22FB 48FC 49FC ニ電報電話後印刷交付

配分 9FB 22FB 48FC 49FC 38GB 47GB 各一

臺飛作命甲第二百十八號

第八飛行師團命令

三月二十七日 北

一 飛行第十戰隊長ハ明二十八日以降司偵機二機ハ

所要ノ整備員ヲ令シテ常時石垣又ハ宮古飛行

場ニ配置シ第九飛行師團長ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

二 第九飛行團長ハ前項司令官ノ指揮スヘシ

三 第三項ノ整備員ハ空輸ハ師團ニ於テ處理

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電報電話後印刷交付
配分 9FB 47GB 各一

臺飛作命甲第二百二十號

第八飛行師團命令

三月二十七日
臺北

一 福澤大佐九州ニ至リ西 參謀ノ任務ヲ繼承スル
外左記人員(部隊)ヲ指揮シ九州方面ヨリ臺灣ニ
向テ誠飛行隊ノ推進及南西諸島ニ對テ誠飛行
隊ノ展開ヲ促進スルト共ニ適時南九州方面ヨリ敵
艦船ニ對テ攻撃ヲ指導スヘシ

左

記

一 將校ニ主計下士官一衛生兵一

吉屋飛作命甲第百二十號ニ基ク參謀長指示

一南九州方面ヨリ敵艦船ニ對スル攻撃ハ南九州ヲ基地トシ敵艦船ニ對シ有効ナル攻撃ヲ實施シ得ル場合ニ限り好機ヲ捕捉シテ行フモノトス

二臺灣ニ前進スル試飛行隊ハ上海ヲ經由スルモノトシ特ニ伎倆未熟ナル空中勤務者ハ成シ得レハ航空輸送部ノ援助ヲ受ケテ前進セシムルモノトス又試飛行隊ノ誘導ハ勉メテ航空輸送部誘導機等ニ依ルモノトス

三南西諸島ニ對スル試部隊展開ハ主トシテ薄暮時ヲ

利用スルモノトス

四九州ニ進出セル特攻隊ハ所在部隊ノ協力ヲ得テ極力
廣度分散遮蔽シ損害ヲ避ケルモノトス

昭和二十年三月廿七日

第八飛行師團參謀長 岸本重一

臺飛作命甲第百二十一號

第八飛行師團命令

三月二十八日ニシテ
臺 北

- 一 數十隻ヨリ成ル敵艦船群(空母ヲ含ム)ハ依然
沖繩本島西側距岸三四十軒附近ニ在リ(九吾
ノ位置那覇基點ニ九吾廣四軒Aニテ含ムニ
三〇隻ニ由リ度三〇軒Aニテ含ムニ三〇隻)
- 二 師團ハ本夜半一部ヲ以テ前項艦船群(空母ヲ
含ム)ヲ攻撃セシメタス

三 左記諸隊ハ左ノ兵力(九九軍偵)ヲ以テ本二十八日

二三〇〇ヲ期シ第一機ヲ艦船群ヲ爆殺スヘシ
攻撃目標及其最新位置ニ就テハ別報ス
機動ノ爲宮古及石垣總行場ヲ使用スルコトヲ得

左記

第九飛行團

獨立飛行第四十二中隊ノ二機

第二十二飛行團

獨立飛行第四十七中隊ノ二機

獨立飛行第四十八中隊ノ二機

四第九飛行團長ハ誠第十七飛行隊ノ残部ヲ以テ前
項部隊ト協同進攻シ敵空母止ムヲ得サレハ大型
艦ヲ求メテ攻撃セシムヘシ
戦果ヲ確認シ獨立飛行第四十二中隊ノ二機ヲ以テ

之ニ任セシムヘシ

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨電報(電話)后印刷交付

配布區分 10HA 9FB 22FB 41FCs 47FCs 48FCs 各一

臺飛作命甲第二百二十二號

第八飛行師團命令

三月二十八日五〇〇
臺

一本二十八日偵察隊報告ニ依リハ空母四隻ヲ含ム
輸送艦團(約一〇〇隻)八一三三〇那霸基點百八
十度百五十軒ヲ北進中ナリ

二師團ハ一部ヲ石垣ニ推進シ第九飛行團ノ攻撃

戦力ヲ強化セントス

三第三十二飛行團長ハ飛行第十七戰隊ヲ本二十八
日一九〇〇迄ニ石垣ニ前進シ第九飛行團長ノ指

揮下ニ入ランムヘシ

指揮轉移、時機ハ甚難到着、時トス

四第九飛行團長ハ前項部隊ヲ併セ指揮シ明ニ
十九日黎明以降、攻撃ヲ準備スヘシ

攻撃兵力攻撃目標、選定並ニ攻撃、時機等

ニ關シテハ別命ス

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電話後印刷交付

配布區分 10HAニ9FB 22FB 17FR 各一

臺飛作命甲第二十二號其ノ二

第八飛行師團命令

三號 二十日五〇〇

一 第七師團氣象隊ハ師團ニ編入セラル

二 第七師團氣象隊ハ編成完結、時トス

三 第七師團氣象隊ハ本島近南諸島ニ展開シ

氣象業務ヲ取扱スヘシ

本部ノ位置ハ臺北トス

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電話後印刷配布
配布區分 10HAニ9FB 22FB 17FR 各一

臺飛作命申第百二十三號

第八飛行師團命令

中華民國二十八年八月八日
北

一師團公臺北地區ニ於ケル飛行場ノ設定整備力ヲ
強化スルト共ニ隨時飛行場修復ニ備ヘントス

二第三十九航空地區隊長ノ第百二十三飛行場設定
隊ヲ速カニ臺北ニ派遣シ第三十八航空地區隊長
ノ指揮下ニ入ラシムハシ

指揮轉移ノ時機公臺北到着ノ時トス

三第三十八航空地區隊長ノ自今第百二十三飛行場

設定隊ヲ併セ指揮シ臺北地區ニ於ケル飛行場、
設定整備ニ任セシムルヲ共ニ隨時ノ飛行場修復
ヲ準備スヘシ

四第二項部隊移駐ノ爲ノ輸送ハ師團ニ於テ處
理ス

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨電報後印刷交付

配布區分 10HA 38AB 39AB 133AR 各一

臺飛作命甲第二百二十四號

第八飛行師團命令

三月二十九日ノ八五
號

一沖繩周邊地域ニ於ケル敵艦船ハ逐次増加シシ

ニテリテ慶良間列島周邊地域ヨリ沖繩本島ニ

對シ海城ニハ艦船百隻以上常在ス

二師團ハ依然特種攻撃ヲ續行ス外自今選抜

セル一部ヲ以テ夜間爆撃ヲ反復セントス

三第九飛行團第二十二飛行團獨立飛行第四十二第

四三第四十八第四十九中隊ハ當分ノ間左ノ如ク夜

間爆撃ヲ實施スヘシ

1. 使用兵力 軍偵ニ乃至三機

2. 攻撃目標 空母又大型艦船

3. 攻撃時刻 夜半

機動飛行場トシテ宮古及石垣飛行場ヲ使用スシ
四第九飛行團長ハ其指揮(區處)下部隊ヲ以テ
前項部隊ノ攻撃ニ密ニ協力スヘシ

自今宮古以南、南西諸島ニ展開中ノ通信(對
空航測ヲ含ム)部隊ヲ其ノ區處下ニ入ラセム

五宮古島以南、南西諸島ニ展開中ノ通信(對
空航測ヲ含ム)部隊ハ自今第九飛行團長

區處下ニ入ルヘシ

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電報電話後印紙交付

配布區分

- 10HAニ
- 9FB
- 22FB
- 42FCs
- 43FCs
- 47FCs
- 48FCs
- 49FCs
- 16FTL
- 26TM
- 各一

臺飛作命甲第百二十五號

第八飛行師團命令

三月二十九日〇九三〇
臺北

一 第二十二飛行團長、臺飛作命甲第百二十二號ニ
拘ラス飛行第十七戰隊、甲編成ノ攻撃隊一隊ヲ
本二十九日〇九〇迄ニ石垣ニ前進シ第九飛行團長
ノ指揮下ニ入ラシムヘシ

二 第九飛行團長、臺飛作命甲第百二十二號ニ拘ラ
ス前項部隊ヲ併セ指揮シ明三十日黎明敵輸
送船團ヲ求メテ攻歟サスヘシ

攻撃手官實施、要領ニ關シテハ別命ス
三細部ニ關シテ參謀長ヲシテ指示セシム

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨電報後印刷交付

配布區分 10HA 3 ZFB 9FB 17R 各一

臺飛作命甲第百二十五號ニ基テ參謀長指示

一飛行第十七戰隊、攻撃隊中直掩機ハ攻撃終了
後黎明ヲ利用シ花連港ニ歸還シ第二十二飛行團
長(飛行第十七戰隊長)ノ指揮下ニ復歸シテ戰力恢

復テ圖ルモノトス
之ヲ爲戰隊長ヲ指定シテ復歸シテ戰力恢

二第九飛行團長、自隊ニ於テ戰果確認及誘導

ニ處置ヲ講ズルモノトス
三攻撃ノ爲、爆彈(高射砲)ニ於テ準備セ

ルモノヲ使用スルモノトス
四攻撃方式ハ天候及空中勤務者ノ伎倆等ヲ考慮
シ夜間ノ空中集合ヲ容易ナラシムル如ク努メテ數機
毎ノ班ニ區分シテ實施スルモノトス

昭和二十年三月二十九日

第八飛行師團參謀長 岸本重一

臺飛作命甲第二百二十六號

第八飛行師團命令

發 二十九日 二三
北

一三浦參謀ハ本二十九日夕刻石垣ニ至リ第九飛行
團ト連絡スルト共ニ臺飛作命甲第二百二十四號ニ基
ク第九飛行團以外ノ諸隊ノ攻撃ヲ指導スヘシ
ニ獨之飛行第四九中隊長ハ軍偵一機ヲ以テ前項
空輸ニ任セシムヘシ

前項軍偵ハ飛行第十七戰隊ノ石垣ヨリノ進攻ヲ
誘導シ得ル如ク準備セシムヘシ

三細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 要旨ヲ電話後印刷交付

配布区分 10HAニ47R8 61EC 三浦參謀各一

臺飛作命甲第百二十六號ニ基ク參謀長指示

一三浦參謀ハ所要ニ應シ飛行第十七戰隊ノ誘導ニ關

シ臺飛作命甲第百二十四號第三項ノ軍偵ヲ區處ス

ルコトヲ得ルモノトス

二前項軍偵ハ飛行第十七戰隊ノ誘導ニ任セサル場合

ハ三月三十一日迄ニ歸還セシムルモノトス

三三浦參謀ノ派遣期間ハ概ネ三日トシ所要ニ應シ

隨時延期スルコトヲ得

昭和二十年三月二十九日

第八飛行師團參謀長 山本健兒

臺飛作命甲第二百二十七號

第八飛行師團命令

三月三十日 一九三〇
臺北

一 偵察隊、報告ニ依リ、約一〇〇隻、輸送船團ハ一
 七〇那霸基點ニ〇〇度四〇分ヲ西北進中ニシテ
 本夜慶良間列島附近ニ進入スルモト判断セラレ
 二 第九飛行團長、明四月一日拂曉飛行第十七戰隊
 之攻撃隊及飛行第二十四戰隊ヲ以テ慶良間列
 島周邊ノ敵艦艇ヲ索メテ攻撃シ得ル如ク準備
 スヘシ

攻擊實施要領ハ別電ス

第八飛行師團長 山本健兒

下達法 電報後印刷交付

配區分 湾ニ 9FB 22FB 17FR 24FR 各ニ

臺飛作命田第二百二十八號

艦船攻撃命令

三月三十一日二四〇
臺 北

第九飛行團長 明四月一日左ノ如ク攻撃ヲ實施ス

一 攻撃目標

慶長擲彈筒自走機艦艇

二 攻撃日時

四月一日 夜間 六二〇

三 攻撃方法